

しんたに洋一

後援会報討議資料№3 2023/7/10発行

頒布責任者 後援会長 家子和男

大槌町小槌第24地割4-5

印刷者 (株)プランニングマーケット

東京都港区芝浦4-9-18

民間人
が流れを
変える



高齢社会の
アドバイザー

新谷氏は、大手企業の日立製作所にも勤務された民間人です

ひと・モノ・金が集まるまちづくりを提案

新谷洋一氏のプロフィール

1952年 10月21日生まれ 東京都出身
1975年 東京大学工学部卒業 1977大学院修士1997年工学博士

1977年 日立製作所入社 コンピュータ研究開発

1984年 米国カーネギー・メロン大学客員研究員

1996年 日立アメリカ情報技術研究所 所長

2008年 日立オープンイノベーション推進室長

2013年 東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員

2013年 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授

東日本大震災復興支援

大槌町にて2年間水産分野の復興支援

その他 国立研究開発法人科学技術振興機構

高齢社会研究領域アドバイザー、など歴任

2014年 大槌で(株)ひょうたん島居酒屋設立

代表取締役 現在に至る 家族(妻・一男・三女)



刷新



イノベーションを活かしたまちづくり

諸課題の多い大槌町はイノベーションの宝庫

変革する時代

「イノベーション」とはモノや仕組み、サービス、組織、ビジネスモデルなどに新たな考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会にインパクトのある革新や刷新、変革をもたらすことを意味する。

よそ者だからよく分かるんだネ



とかく「よそ者」を、今までは、こうだからと敬遠しがちです。しかし「よそ者」は、その地域の常識にとらわれず、客観的な視点で、その地域を見ることが出来また発見します。

よそ者は、地域イノベーションを起す為に必要な人材です。社会経済が低迷する大槌町には、今こそ、真の復興を目指す民間人によるまちづくりが必要です。

